



SIMCO通信

平成29年12月15日第81号 発行(担当 製造第3グループ 西 品質保証グループ 幡野)



寒暖差が大きくなり、弊社においても風邪をひいている人を見かけ始めました。温かい布団を抜け出すのもひと苦労です。この時期になってくると食べたくなる料理はやはり鍋料理ですかね？栄養をつけ、こじらせず、新年を迎えたいです。話は変わりますが、野球ファンの私(千葉ロッテマリンズ)にとって二刀流の大谷翔平のエンゼルス移籍は、大歓迎で日本人の底力を見せつけてもらいたいです。

ちなみに、私は今シーズン 千葉マリンの球場で何回も見ました。

表面担当 品質保証グループ 幡野

合格 おめでとうございます！

今年度、当社では、右の両名(同期入社)が金属熱処理技能士2級を取得致しました。2級は都道府県知事の合格証書が授与され、技能士と称することができます。今後は、勉強した知識・技能を仕事に結びつけ、更に上位を目指してください！

又、金属熱処理技能士は国家資格である技能検定制度の一種で、都道府県職業能力開発協会(問題作成等は中央職業能力開発協会)が実施する、金属熱処理に関する学科及び実技試験に合格した方々です。



左:永尾氏、中央:社長、右:東軒氏

熱処理治具

下記の写真は、製造第三グループで製品をセットする組立治具です。4隅に支柱があり、製品の高さによって上段の位置を自由自在に変える事が出来るので、長短の製品を混載し準備することができます。

又、他にはバスケット治具もあり、こちらは同じ治具を積み重ね、製品がこの高さ以下なら混載も可能です。

治具は基本的に各社のノウハウ的なもので、弊社の物は他社にはないと思います。弊社に於いても、メーカーに設計を依頼し、軽量化・熱処理による治具の変形の低減(治具も焼入れするので変形します)・材質等も考慮して制作し、使用しています。

さて、下記の治具の写真は、焼入れを何回かしたものです。表面にスケール等が付着している事が解ります。製造第三グループの熱処理は、メタノール分解ガスの雰囲気中で、コントロール用のプロパン若しくはアエーを添加し焼入れ又は浸炭処理をしています。プロパンは熱分解し煤の発生、またアエーは酸化鉄による剥離の原因になり、下記・左の写真のようになってしまいます。このまま治具を使用してしまうと、このスケールは加熱室にそのまま持ち込まれ、その後、焼入れした際にはスケールが焼入油に混じり、焼入油の清浄度を低下させてしまいます。そこで、このグループでは定期的に治具を金ブラシでスケールを落とし、未然に不具合の防止もしています。



スケール落とし前



スケール落とし後

今月の行事 クリーンデー

12月2日に今期4度目となるクリーンデーが行われました。
名前の通り、5Sの整理、整頓、清掃、清潔、躰を重点的に行う日です。



各グループリーダーの指示のもと、普段の清掃作業で手の届かない場所を綺麗にしました。

右図のように工場内の歩行者用の通路のペンキが薄くなってきていたので、塗りなおしたりするなど、普段の業務では時間がなくて触れていなかった場所を、重点的に補修したり、掃除をしました。

当社では、クリーンデーが一期ごとに7回あるので、しっかりと会社を安全でピカピカな気持ちの良い職場にして行きたいです。



今月の一冊 ジーンズの少年十字軍

今月紹介する本はテア・ベックマン著「ジーンズの少年十字軍」です。

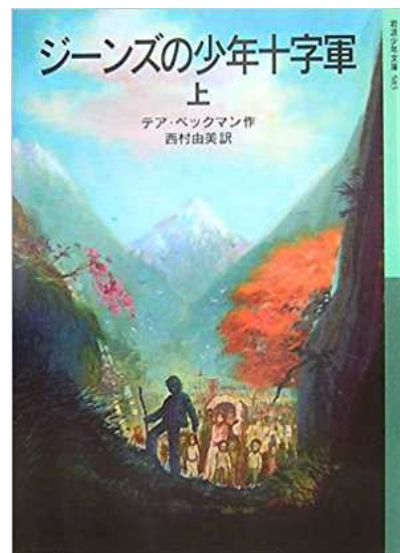
私は歴史が好きで、特に中世ヨーロッパのシャルル一世の話が好きなのですが、十字軍の話あまり知らなかったので十字軍を題材にした本がないかと書店をまわっていた時にこの本と出会いました。

この本は非常に読みやすく、且つ中世ヨーロッパの時代背景がうまく書かれており、この時代を知らない方でも読んでいて面白いと思います。今回紹介させていただきます。

オランダに住む歴史好きの少年ドルフは知り合いの科学者が発明したタイムマシンを使い13世紀へ。トラブルで現代に帰れなくなり、そこで少年十字軍と出会い、統率が取れていない彼らを見かねて、旅に同行する事となる。

主人公ドルフの目を通して感じられる中世と現代の違い、そして決して変わることのない社会というものの構造。きっと共感できるものがあるのではないのでしょうか。

皆様も少年ドルフと中世ヨーロッパを旅してみたいはいかがですか？



○編集後記○

あと少しで2017年も終わりを迎えます。今年の4月に入社してからあっという間に8か月が経ちました。残り少ない日々、気を抜かず事故が起こらないよう、しっかりと仕事をして行きたいと思います。

最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。良いお年をお迎えください。

裏面担当 西